



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ファステップス

コード番号 2338 URL <http://www.fasteps.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 川嶋 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 村山 雅経

TEL 03-5360-8998

四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	3,602	23.4	25	—	52	365.4	△23	—
26年2月期第2四半期	2,919	△0.0	0	△99.6	11	△80.9	29	21.0

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 8百万円 (△78.8%) 26年2月期第2四半期 28百万円 (△29.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	△8.38	—
26年2月期第2四半期	8.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年2月期第2四半期	4,196	23.3	1,542	31.7		
26年2月期	3,161	31.7	1,532	31.7		

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 978百万円 26年2月期 1,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	19.3	70	—	100	—	40	—	14.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期2Q	2,882,500 株	26年2月期	2,882,500 株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	38,400 株	26年2月期	38,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期2Q	2,844,100 株	26年2月期2Q	2,844,100 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化、ユーロ圏経済の回復遅れ等により先行き不透明な状況となりながらも、企業収益の持ち直しや雇用情勢の改善が見られる等、景気回復を示す指標もみられております。

このような状況のもと、当社グループは、各事業ごとにサービスの拡充に努め顧客に対してのアプローチ増加に取り組んでまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高3,602百万円（前年同期比23.4%増）、営業利益25百万円（前年同期0百万円の営業利益）、経常利益52百万円（前年同期比365.4%増）となりました。ただし、法人税等や少数株主損益の影響により、最終損益として23百万円の四半期純損失（前年は四半期純利益29百万円）となりました。

セグメント別の売上高は、以下のとおりであります。

なお、当第2四半期連結会計期間より、新たな報告セグメントとしてシェイプファンデ事業を記載しているため、当事業の前年同期比較を行っておりません。

(システムソリューション事業)

当事業におきましては、学習向けに特化したスマートフォンアプリケーションが順調にタイトル数を増加した一方、受託開発に関しましては、顧客からの注文数の減少により売上高も減少しております。その結果、売上高は182百万円（前年同期比25.2%減）、売上構成比は5.1%となりました。

セグメント利益(営業利益)は売上高の減少の影響により13百万円となり、前年同四半期と比べ53百万円の減益となりました。

(メディアソリューション事業)

当事業におきましては、新規クライアントの獲得や、既存クライアントの注文数増加により、売上高は計画よりも増加しております。その結果、売上高は3,079百万円（前年同期比44.6%増）、売上構成比は85.5%となりました。

セグメント利益(営業利益)は売上高の増加の影響により97百万円となり、前年同四半期と比べ135百万円の増益となりました。

(コストマネジメント事業)

当事業におきましては、前年同四半期での大幅なスポット売上の影響により、売上高は減少しておりますが、消費税増税の反発影響も少なくなり、売上高も回復してきております。その結果、売上高は153百万円（前年同期比71.8%減）、売上構成比は4.3%となりました。

セグメント損失(営業損失)は7百万円となり、前年同四半期と比べ33百万円の減益となりました。

(シェイプファンデ事業)

当事業におきましては、シェイプファンデ事業を営む株式会社NSFを子会社化した際に、事業内容の見直しを行い改善を進めており、美容サロンの開始や、美容・健康関連の販売を行い顧客に対して十分なサービスの提供を進めてまいりました。その結果、売上高は165百万円、売上構成比は4.6%となりましたが、改善に伴う費用を計上したことによりセグメント損失(営業損失)は36百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて803百万円増加し、3,259百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が393百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ231百万円増加し、937百万円となりました。これは、主にのれんが67百万円増加したことなどによります。総資産は、前連結会計年度末に比べて1,034百万円増加し、4,196百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて748百万円増加し、1,942百万円となりました。これは、主に買掛金が560百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ276百万円増加し、711百万円となりました。これは、主に長期借入金が149百万円増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて9百万円増加し、1,542百万円となりました。これは、少数株主持分が32百万円増加したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて231百万円増加し、1,001百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果、増加した資金は355百万円（前年同期は93百万円の減少）となりました。これは主に仕入債務の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果、減少した資金は164百万円（前年同期は8百万円の減少）となりました。これは主に貸付による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果、増加した資金は40百万円（前年同期は180百万円の増加）となりました。これは主に長期借入金による収入によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年10月7日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,787,004	2,037,874
受取手形及び売掛金	348,413	741,636
営業未収入金	63,855	111,702
商品及び製品	1,042	61,822
仕掛品	11,729	9,809
繰延税金資産	8,472	12,727
その他	252,398	301,807
貸倒引当金	△17,126	△17,642
流動資産合計	2,455,789	3,259,737
固定資産		
有形固定資産	23,400	111,234
無形固定資産		
のれん	26,447	93,911
その他	53,448	118,507
無形固定資産合計	79,895	212,418
投資その他の資産		
投資有価証券	178,738	175,049
長期貸付金	313,732	326,255
繰延税金資産	10,402	10,310
その他	310,779	312,904
貸倒引当金	△210,808	△210,999
投資その他の資産合計	602,843	613,520
固定資産合計	706,140	937,173
資産合計	3,161,929	4,196,911
負債の部		
流動負債		
買掛金	211,179	771,642
短期借入金	815,000	705,465
1年内返済予定の長期借入金	49,896	99,720
未払法人税等	14,908	53,607
その他	102,654	312,167
流動負債合計	1,193,638	1,942,604
固定負債		
長期借入金	77,926	227,220
退職給付引当金	14,869	15,788
役員退職慰労引当金	309,063	316,841
その他	33,433	151,483
固定負債合計	435,291	711,333
負債合計	1,628,930	2,653,937

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,800	983,800
資本剰余金	774,915	575,824
利益剰余金	△706,311	△531,059
自己株式	△58,994	△58,994
株主資本合計	993,409	969,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,295	9,353
その他の包括利益累計額合計	9,295	9,353
新株予約権	1,838	3,415
少数株主持分	528,455	560,634
純資産合計	1,532,999	1,542,973
負債純資産合計	3,161,929	4,196,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	2,919,715	3,602,572
売上原価	2,592,258	3,064,513
売上総利益	327,457	538,058
販売費及び一般管理費	327,267	512,181
営業利益	189	25,877
営業外収益		
受取利息	4,441	3,971
受取配当金	4,856	11,347
貸貸収入	8,340	7,897
その他	168	11,133
営業外収益合計	17,806	34,349
営業外費用		
支払利息	3,382	4,239
貸貸費用	-	3,343
その他	3,416	520
営業外費用合計	6,799	8,103
経常利益	11,197	52,123
特別利益		
投資有価証券売却益	6,328	-
特別利益合計	6,328	-
特別損失		
固定資産売却損	-	462
特別損失合計	-	462
税金等調整前四半期純利益	17,525	51,660
法人税、住民税及び事業税	△15,674	44,509
法人税等調整額	16,008	△3,149
法人税等合計	333	41,360
少数株主損益調整前四半期純利益	17,191	10,299
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△12,113	34,139
四半期純利益又は四半期純損失(△)	29,305	△23,839

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,191	10,299
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	10,866	△1,902
その他の包括利益合計	10,866	△1,902
四半期包括利益	28,058	8,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,323	△23,781
少数株主に係る四半期包括利益	△4,265	32,178

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,525	51,660
減価償却費	1,925	16,872
のれん償却額	6,328	11,342
為替差損益(△は益)	35	80
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27,161	706
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,800	27,950
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,022	918
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,267	7,778
受取利息及び受取配当金	△9,297	△15,318
支払利息	3,382	4,239
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,328	-
売上債権の増減額(△は増加)	△346,088	△343,677
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,452	54,612
未収入金の増減額(△は増加)	49,812	△25,513
仕入債務の増減額(△は減少)	234,294	515,233
その他	△28,177	44,305
小計	△82,111	351,191
利息及び配当金の受取額	5,132	13,897
利息の支払額	△3,300	△3,889
法人税等の支払額	△12,967	△6,195
営業活動によるキャッシュ・フロー	△93,246	355,003
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△98,180	△23,010
定期預金の払戻による収入	60,168	3,600
有形固定資産の取得による支出	△3,325	-
無形固定資産の取得による支出	-	△640
投資有価証券の取得による支出	△60,210	-
投資有価証券の売却による収入	96,658	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△13,421
貸付けによる支出	-	△140,000
貸付金の回収による収入	557	1,012
その他	△4,033	8,291
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,366	△164,167
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	130,000	△120,249
長期借入れによる収入	50,000	230,000
長期借入金の返済による支出	-	△69,122
財務活動によるキャッシュ・フロー	180,000	40,628
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35	△5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	78,351	231,459
現金及び現金同等物の期首残高	662,580	770,339
現金及び現金同等物の四半期末残高	740,932	1,001,798

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結会計期間(自平成26年6月1日至平成26年8月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	システム ソリューション 事業	メディアソ リューション 事業	コストマネ ジメント 事業	シェイプ ファンデ 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	244,622	2,130,190	544,902	—	2,919,715	—	2,919,715	—	2,919,715
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	244,622	2,130,190	544,902	—	2,919,715	—	2,919,715	—	2,919,715
セグメント利益 又は損失(△)	66,998	△37,646	26,308	—	55,661	—	55,661	△55,471	189

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△55,471千円は、各報告セグメントに分配していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	システム ソリューション 事業	メディアソ リューション 事業	コストマネ ジメント 事業	シェイプ ファンデ 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	182,933	3,079,410	153,732	165,173	3,581,251	21,321	3,602,572	—	3,602,572
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	182,933	3,079,410	153,732	165,173	3,581,251	21,321	3,602,572	—	3,602,572
セグメント利益 又は損失(△)	13,037	97,518	△7,567	△36,585	66,403	△89	66,313	△40,435	25,877

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△40,435千円は、各報告セグメントに分配していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、株式会社NSFが連結子会社となったことに伴い、「シェイプファンデ事業」を新設しております。当社は、従来「システムソリューション事業」、「メディアソリューション事業」、「コストマネジメント事業」の3つの報告セグメントとしておりましたが、新たに「シェイプファンデ事業」を追加しております。